

むらまち通信

第372号

塚本むらまち計画研究室

主宰 塚本 保弘

北広島市大曲緑ヶ丘6丁目10-10

携帯電話: 090-7515-7057

E-mail: thuka@rose.ocn.ne.jp

2024年7月22日 発行



2024 サクランボの収穫と整理作業体験



木の上部に残されている腐りかけのサクランボの実



食べられそうなサクランボの実



三脚を使って上部の実を整理



低い場所の実を整理



八剣山をバックにコンテナに集めた整理した実と参加した皆さん

○ 実施状況

①日 時 令和6年7月21日(日) 9:40~11:10

②場 所 砥山ふれあい果樹園

③主 催 八剣山発見隊

④参加者 11名

⑤実施内容

雨により割れたり、鳥や虫に食われたり、カビが生えた腐れたサクランボの実を枝から外して整理

果樹園でのサクランボ狩りもほぼ終了。まだ雨に当たり割れたり鳥や虫に食われたサクランボが枝に残っています。今回は、園内での病害虫の発生を防ぐため実施したところです。

最高気温が30度を超える青空のもと、11名の参加者が三脚を利用して木の上部にある腐りかけた実を軸ごと枝から外して1時間30分ほどでコンテナ1杯分の実を整理しました。中には食べられる実もあり、参加者で分けて持ち帰りました。

今年のサクランボは全国的に不作となっており、八剣山周辺の果樹園でも、収穫量は例年に比べかなり少ないそうです。